

配慮表現としての「でしょうか」の使用状況

—8つのメールタスクによるメール文の分析—

金庭久美子（目白大学）

k.kaneniwa@mejiro.ac.jp

【要約】

本研究は、メール文における配慮表現としての「でしょうか」について日本語母語話者および日本語学習者（中国、韓国、ドイツ）の使用状況を明らかにすることを目的とした。8つのメールタスクに見られる表現を比較した結果、問いかけが必要とされ、親疎関係で疎の相手に行動や返信を要求する場合「でしょうか」が多く用いられることがわかった。また「ていただけませんか」（「依頼型」）の使用は学習者にも見られたが、文構造の複雑さが要因で母語話者ほど使用していないことがわかった。

1. はじめに

本研究は「ですか」より丁寧な形として使用される「でしょうか」の使用状況に注目する。「でしょうか」というのは、例1や2に示したような言い方である。

例1 A: 先生、これは先生のかばんでしょうか。

B: いえ、わたしのじゃありません。

例2 A: 先生、あした休んでもいいでしょうか。

B: ええ、いいですよ。

『A COURSE IN MODERN JAPANESE』（以下 CMJ）（p.231）より

表1 「でしょうか」を指導項目として扱っている教科書

教科書名	項目説明
『できる日本語 中級』2課 4	店の人にやわらかく希望を伝えるときに使える表現
『A COURSE IN MODERN JAPANESE VOLUME ONE』9課	When asking superiors or unfamiliar people in a modest manner. でしょうか is used instead of ですか, whether the question sentence is a nominal one or an adjectival one.
『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版』2課	疑問に思うことを丁寧に問いかける

表1は「でしょうか」の文型の説明であるが、CMJの説明にも書かれているように、「ですか」のかわりに「でしょうか」にすればよいため、それほど難しい文型ではないかもしれない。実際に日本語教育では指導項目として扱っている教科書が少なく、調査した12冊¹の教科書のうち、扱っていたのは、

¹ 12冊は表1の3冊に加え、『みんなの日本語 初級Ⅰ、Ⅱ』、『日本語初級1、2 大地 メインテキスト』、『げんき』、『みんなの日本語 中級Ⅰ、Ⅱ』、『中級を学ぼう 前期、後期』の9冊である。

表1の3冊であった。CMJのみ初級レベル対象で、他2冊は中級レベル対象であった。

しかしながら、上級レベルの学習者から例3のようなメール文をもらうことがある。

例3 先行研究のところは「.....について調査した」と書きましたが、この「調査した」は「調査している」に変更したほうがいいですか。(上級レベルの学習者からのメール文)

文法的には問題はなく、用件は伝えられていると思うのだが、日本語母語話者の筆者なら「いいでしょうか」で尋ねたいところである。「でしょうか」を使えば読み手に対しより配慮した文になると思われる。「でしょうか」はいつ、どのようなときに使うべきなのだろうか。

2. 先行研究

「でしょう」に関する先行研究として、坂本(2011)は、日本語教育の文法書であるグループ・ジャマシイ(1998)、松岡弘監修(2000)、白川博之監修(2001)を用い、「でしょう」の機能について資料1のように整理している。

資料1 「でしょうか」の用法

- | |
|---|
| <p>①判断(非断定/推量) このすいかはたぶん甘いでしょう。</p> <p>②確認 田中さんもハイキングに行くでしょう↑</p> <p>③聞き手の知識の活性化を表す表現
高校の同級生に田中さんっていたでしょう↑ 彼女結婚するんだって。</p> <p>④話し手の疑いを表す表現 明日は晴れるでしょうか↓</p> <p>⑤簡単(驚き)・詠嘆(感慨を込めて)・感情の強調 (「だろう」のみ)</p> <p>⑥相手を非難する用法 だから気をつけろって言ったでしょう↓</p> <p>⑦待遇表現 貸していただけませんか。(「でしょうか」のみ)
依頼表現に幅を持たせるために、「でしょうか」を使う言い方がある</p> |
|---|

「でしょう」にはさまざまな機能があるが、本研究で扱う「でしょうか」は⑦に相当する丁寧さを表すものである。坂本(2011)によれば①判断(非断定/推量)の「でしょう(下降イントネーション)」や②確認の「でしょう(上昇イントネーション)」は多くの日本語初級教科書に取り上げられているが、⑦待遇表現は先に示したCMJのみだったという。⑦待遇表現は「依頼表現+でしょうか」の例が示されているが、実際には「どこでしょうか」のように問いかける際にも使うことができる。

次に「ですか」と「でしょうか」について言及した研究として、森山(1989)は、聞き手に情報があると想定された場合「デスカ」を用い、聞き手に情報がないと想定された場合「デショウカ」を用いると述べている。しかしながら、「でしょうか」に前述の⑦待遇表現の意味合いがあるとすると、「でしょうか」を用いるかどうかは情報の有無の問題だけではないと考えられる。

一方、三宅(1993)は、聞き手に情報がある場合に「でしょうか」を使うと「丁寧さ」が生じると述べている。さらに、牧原(1994)は、「~でしょうか」は「~ですか」と比較して、聞き手に返答の義務を生じさせにくいと言っており、聞き手の回答の義務の自由度を上げることによって丁寧さを生じさせると述べている。また、聞き手に話し手の要求する情報があることが明らかなコンテキストで「~

でしょうか」を用いると、迂言的な情報要求を表すことになり、丁寧さを上げる働きをもつと述べている。

以上のように、文法書においては「でしょうか」の用法として待遇表現があること、三宅（1993）、牧原（1994）から「でしょうか」には丁寧さを上げる働きがあることが明らかにされている。

このような「でしょうか」について、日本語母語話者と日本語学習者がどのように「でしょうか」を用いているのか、メール文をもとに見ていくことにする。

3. 研究の目的

本研究の目的は以下の課題を明らかにすることである。

- 1) メール文において、日本語母語話者、学習者は「でしょうか」の使用に違いは見られるのか。
- 2) メール文において、「でしょうか」はどんな状況で使われるのか。
- 3) 学習者が「でしょうか」を使わない理由は何か。

4. 調査

4. 1 調査データ

本研究では、web 上のコンテンツ『花便り』²を作成した際に、2015 年から 2016 年にかけて収集した 960 件のメール文のデータを用いる。対象者は日本語母語話者（J）、中国語母語話者（C）、韓国語母語話者（K）、ドイツ語母語話者（G）、それぞれ 30 名である。韓国語母語話者とドイツ語母語話者には SPOT³を実施した。平均値は韓国語母語話者 79.0、ドイツ語母語話者 73.2 であり、中級レベル（SPOT 56～80）相当である。中国語母語話者も同様のメール文を書くことができたため、同等のレベルであると想定される。タスクは 8 種類あり、母語で配布し作成してもらった。960 件のデータに対し、「でしょうか」で検索し、その数を調べた。表 2 は、人数、タスク数、メール文数と、「でしょうか」の使用数を示している。

表 2 『花便り』基礎データおよび「でしょうか」の使用数

	人数	タスク数	メール文数	「でしょうか」	備考
J	30	8	240	107	
C	30	8	240	45	
K	30	8	240	63	SPOT 58～88 平均 79.0
G	30	8	240	77	SPOT 47～85 平均 73.2
合計	120 名		960 件	292 件	

J=日本語母語話者 C=中国語母語話者 K=韓国語母語話者 G=ドイツ語母語話者

4. 2 タスク別の使用状況の調査結果

母語話者別、各タスク別にメール文における「でしょうか」の使用状況を調べた結果は、表 3 の通りである。最も「でしょうか」を使用したのは、日本語母語話者 107 件で、次いでドイツ語母語話者 77

² 『花便り』 <https://hanadayori.overworks.jp/>

³ SPOT (Simple Performance- Oriented Test) 筑波大学日本語・日本事情遠隔教育拠点の TTBJ（筑波日本語テスト集）を使用し得た結果。

件、韓国語母語話者 63 件、中国語母語話者 45 件であった。タスク別で、最も多く「でしょうか」がみられたのは、タスク 8「備品持ち出しの管理人へのお詫び」で 69 件、次いでタスク 3「来日遅れの事務員への連絡」60 件、タスク 6「夏休みの訪問に対するお母さんへの予定伺い」58 件、タスク 7「忘れ物保管の管理人へのお願い」46 件となっている。この順位は日本語母語話者の使用数の順位とほぼ同じであることから学習者も同様のタスクで多く用いていると言える。

表 3 8つのメールタスクにおける「でしょうか」の使用状況

		J	C	K	G	合計
タスク 1	花見の持参品の友人への連絡	5	2	5	8	20
タスク 2	日本留学についての先生への報告	4	1	4	7	16
タスク 3	来日遅れの事務員への連絡	23	8	9	20	60
タスク 4	誕生日のお祝いに対するお母さんへのお礼	0	2	4	3	9
タスク 5	翻訳の依頼に対する友人への断り	6	3	2	3	14
タスク 6	夏休みの訪問に対するお母さんへの予定伺い	19	15	15	9	58
タスク 7	忘れ物保管の管理人へのお願い	19	4	11	12	46
タスク 8	備品持ち出しの管理人へのお詫び	31	10	13	15	69
	合計	107	45	63	77	292

J=日本語母語話者 C=中国語母語話者 K=韓国語母語話者 G=ドイツ語母語話者

表 3 の結果から日本語母語話者と日本語学習者の「でしょうか」の使用状況に違いがみられること、どの学習者も「でしょうか」を使用しているが、学習者の母語によって使用数に差がみられること、タスクによって使用数に違いがみられることがわかった。

4. 3 母語別にみた「でしょうか」の表現の比較

4.2 節では、タスク 3、タスク 6、タスク 7、タスク 8 で「でしょうか」の使用が多いことがわかった。では、具体的にどのような表現を用いていたのであろうか。表 4 は本調査に使用したタスクである。下線部は「でしょうか」を用いて表現する可能性がある箇所である。

表 4 タスク 3、タスク 6、タスク 7、タスク 8 の指示文

	タスク内容
タスク 3	「あなたは留学することになりました。授業は 4 月 10 日にはじまります。けれども、自分の大学で試験があつて、その日に行くことができません。留学先の事務スタッフに連絡して、 <u>どうすればいいか聞いてください。</u> 」
タスク 6	あなたは夏休みに北海道を旅行する予定です。以前ホームステイをした山田さんの家を訪問したいです。山田さんの家は北海道の札幌にあります。あなたは 8 月 1 日から 8 月 15 日まで北海道にいます。ホームステイのお母さんに <u>予定を聞いてください。</u>
タスク 7	「あなたは一時帰国しました。寮の共有スペースに写真 ⁴ にあるようなバッグを置き忘れてしまいました。寮の管理人にどんなバッグで何が入っているかを伝えて、 <u>保管してほしいことを頼んでください。</u> 」

⁴ 写真は <https://hanadayori.overworks.jp/> のタスク 5 参照

タスク 8	「あなたは帰国しました。靴をあけたところ、あなたが住んでいた寮のエアコンのリモコンが入っていました。寮の管理人にメールをして、謝ってください。また、返却方法を尋ねてください。」
-------	--

表 5 は、日本語母語話者が用いた「でしょうか」の表現を型でまとめたものである。「でしょうか」を含む文に対し、「よろしい型」「いい型」「依頼型」「いかが型」「その他」の 4 つの型に分けることができた。

表 5 日本語母語話者が用いた「でしょうか」の表現の型

	「でしょうか」を含む文の例
よろしい型(「宜しい」含む)	タスク 3 その場合どのようにすればよろしいでしょうか。(J015) タスク 6 夏休みの予定をお伺いしてもよろしいでしょうか。(J018) タスク 7 保管しておいていただいてもよろしいでしょうか。(J013) タスク 8 どのようにしてこのリモコンを返却すればよろしいでしょうか。(J010)
いい型(「よい」「良い」含む)	タスク 3 行くことができません。どうすればよいでしょうか。(J002) タスク 8 どのようにお送りしたら良いでしょうか。(J003)
依頼型	タスク 3 どうすれば良いのか教えていただけますでしょうか。(J014) タスク 6 ご都合の良い日を教えていただけませんか。(J021) タスク 7 保管しておいていただけないでしょうか。(J002) タスク 8 返却方法を教えていただけないでしょうか。(J028)
いかが型	タスク 6 山田さんのご予定はいかがででしょうか。(J019)
その他	タスク 3 4月10日以降からの授業の参加は可能でしょうか。(J025) タスク 6 いかがお過ごしでしょうか。(J001) タスク 7 管理室で預かって頂くことは出来ますでしょうか。(J024)

日本語学習者の用いた「でしょうか」を同様に分類し、使用数を見たところ、表 6 のようになった。

表 6 「でしょうか」が含まれる文の型とその数

	タスク 3				タスク 6				タスク 7				タスク 8			
	J	C	K	D	J	C	K	D	J	C	K	D	J	C	K	D
よろしい型	8	2	3	5	3	5	9	1	1	0	2	1	10	1	7	8
いい型	7	4	4	9	0	1	0	0	0	0	1	0	15	5	5	5
依頼型	5	1	1	3	4	0	0	1	16	3	7	10	6	0	0	1
いかが型	0	0	0	0	6	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	2	6 (6)	2 (2)	3 (1)	4 (2)	2	0	0	1	0	2	0	1
誤用	0	1	1	1	0	1	1	2	0	1	1	0	0	2	1	0
計	23	8	9	20	19	15	15	9	19	4	11	12	31	10	13	15

J=日本語母語話者 C=中国語母語話者 K=韓国語母語話者 G=ドイツ語母語話者

タスク 3 の場合、日本語母語話者は、「よろしい型」 8 件、「いい型」 7 件、「依頼型」 5 件のいずれかを使用するが、学習者は母語を問わず、「依頼型」をあまり使用しないことがわかった。また、ドイツ語母語話者は、他の言語の話者に比べて「でしょうか」の使用が多く、誤用を除き 19 件であった。特に「よろしい型」 5 件、「いい型」 7 件を用いている。資料 2 はドイツ語母語話者の「よろしい型」の例である。

資料2 ドイツ語母語話者 「よろしい型」

日本に行かせていただきたいと思いましたが、どのようにすればよろしいでしょうか。(G004)
その問題は どうしたらよろしいでしょうか。(G028)
担当の教授に連絡したほうがよろしいでしょうか。(G034)
問題があるのですが、質問してもよろしいでしょうか。(G041)
四月十日に日本大学の講義に参加できません。どうすれば宜しいのでしょうか。(G041)

タスク6の場合、ホームステイのお母さんに予定を聞くと言うタスクであるが、日本語母語話者の場合、「よろしい型」や「依頼型」を使わずに「いかがでしょうか(どうでしょうか)」のように相手の意向を尋ねる言い方が6件見られた。資料3に示す。同様に中国語母語話者は6件、韓国語母語話者は2件、ドイツ語母語話者1件見られた。中国語母語話者が積極的に「いかがでしょうか」を使っている点が他の学習者と異なる点である。

その他、このメール文は挨拶の文として日本語母語話者の6名が「お元気で過ごしてはいかがでしょうか」のように「でしょうか」を用いており、学習者にも数名見られた。その他の括弧内がその数である。

資料3 日本語母語話者のタスク6の「いかが型」

山田さんの都合さえ合えばぜひお会いしたいのですがいかがでしょうか。(J005)
よろしければ山田さんの家に行ってお会いしたいのですが、都合はいかがでしょうか。(J016)
山田さんのご予定はいかがでしょうか。(J019)
山田家のみなさんに会えないかなーと思っているんですが、ご予定どうでしょうか。(J023)
山田さんのお宅を訪問させていただけたらなと思っております。いかがでしょうか。(J026)

タスク7の場合、「(バッグを) 保管してほしいことを頼んでください。」というタスクのため、日本語母語話者は「依頼型」が16件で最も多く、韓国語母語話者もドイツ語母語話者もタスク3や8に比べ「依頼型」を多く使用している。それに対し、中国語母語話者の依頼型は3件であった。資料4は中国語母語話者のタスク7の「依頼型」の例である。

資料4 中国語母語話者のタスク7の「依頼型」

その前に鞆を保管してもらえないでしょうか。(C003)
このかばんを保管してもらえないでしょうか。(C017)
見つけたらしばらく保管していただけないでしょうか。(C024)

タスク8の場合、日本語母語話者は全体で31件であるが、1人が2回ずつ用いた例があり、30名中28名が「でしょうか」を用いて尋ねている。2名のみ別の表現(後述)を使用した。このタスクは韓国語母語話者、ドイツ語母語話者も30名中半数前後が「でしょうか」を用いており、「でしょうか」が出現しやすいタスクである。資料5は韓国語母語話者のタスク8の「よろしい型」の例であるが、どの文も正しい使い方となっている。しかしながら、日本語母語話者が使うような依頼型はドイツ語母語話者では1件のみであった。

資料5 韓国語母語話者のタスク8の「よろしい型」

リモコンをそちらに送りたいですが、どうすればよろしいでしょうか。(K002)
 これはどうやって返却すればよろしいでしょうか。(K004)
 お返すためにはどうすればよろしいでしょうか。(K007)
 どのように返したらよろしいでしょうか。(K008)
 リモコンをそちらに送りたいですが、どうすればよろしいでしょうか。(K011)
 このリモコンを返したいんですが、宅配でよろしいでしょうか。(K013)
 郵便で送らせていただいてもよろしいでしょうか。(K021)

5. 考察

4.2節では、タスク別の使用状況の調査の結果、日本語母語話者であっても多く使用するタスクとそうではないタスクがあることがわかった。それぞれのタスクにはどのような違いがあったのだろうか。

表7は、タスクの内容の違いについて比較したものである。まず、質問すべきタスクかについて、質問が要求されるタスクは○、そうではないタスクは×とした。次に読み手との親疎関係はどうかについて、親しい場合は「親」、そうではない場合は「疎」とした。さらに、その間いかけによって負担があるかどうかによって、行動を要求する場合は○、返信を要求する場合は△、そうではない場合は×とした。

タスク6は親疎関係の「親」の関係としたが、「でしょうか」が56件で多かった。それはなぜだろうか。このタスクでは挨拶の部分と意向を尋ねる部分の2か所で「でしょうか」を用いているところが他のタスクとは異なる点である。タスク6はホームステイのお母さんとの付き合い方が親しい間柄と考えた人であっても、挨拶の定型表現である「お元気で過ごしてでしょうか。」「いかがお過ごしでしょうか」のような表現を使っていた。日本語母語話者は19件の「でしょうか」のうち6件が挨拶表現であった。このようなことから「でしょうか」の数が多かったのだと考えられる。

表7 8つのメールタスクにおける「でしょうか」の使用状況

	J	C	K	G	計	質問	親疎	負担度
タスク1 花見の持参品の友人への連絡	5	2	5	8	20	×	親	×
タスク2 日本留学についての先生への報告	4	1	4	7	16	×	疎	×
タスク3 来日遅れの事務員への連絡	23	8	9	20	60	○	疎	△
タスク4 誕生日のお祝いに対するお母さんへのお礼	0	2	4	3	9	×	親	×
タスク5 翻訳の依頼に対する友人への断り	6	3	2	3	14	×	親	×
タスク6 夏休みの訪問に対するお母さんへの予定伺い	19	15	15	9	58	○	親	△
タスク7 忘れ物保管の管理人へのお願い	19	4	11	12	46	○	疎	○
タスク8 備品持ち出しの管理人へのお詫び	31	10	13	15	69	○	疎	△
合計	107	45	63	77	292			

J=日本語母語話者 C=中国語母語話者 K=韓国語母語話者 G=ドイツ語母語話者

タスク8は31件の「でしょうか」がみられたが、日本語母語話者30名のうち28名が「どのよう

にしてこのリモコンを返却すればよろしいでしょうか。(J010)」「返却方法を教えていただけないでしょうか。(J028)」のように「でしょうか」を使って問いかけていた。9割以上の人が「でしょうか」を用いるということは、このタスクにおいて問いかける場合は、「でしょうか」で尋ねることは必須であると言える。ちなみに、「でしょうか」を使用しなかった2名は「どのように返却したらよいか迷い、ご連絡いたしました。(J008)」「どのように返却するのがよろしいかをお尋ねしたいと思い、メールいたしました。(J019)」のように書いていたが、「でしょうか」を用いず書くことももちろん可能である。

表7に示した8つのタスクのうち、「でしょうか」が多く見られたのは、タスク3(60件)、タスク6(58件)、タスク7(46件)、タスク8(69件)であった。この4つのタスクに共通する点は以下の通りである。

1) 質問したいことがある

2) 親疎関係で疎(面識がない人、面識があっても関係が薄い人)の場合は、丁寧にするために「でしょうか」にする

3) 特に相手に負担をかける場合は、さらに丁寧に尋ねる必要があるため、必然的に「でしょうか」を用いる

牧原(1994)は、「でしょうか」を用いるのは、聞き手に回答を導くように働きかけるためであり、話し手の質問に対する明確な回答の義務を軽減するためであると述べていたが、そうしなければならないのは、親疎関係で疎の関係で、特に相手に負担が生じるかもしれないからであろう。そうした理由で、「でしょうか」が用いられると考えられる。

次に、4.3節の母語別にみた「でしょうか」の表現の比較の結果から考えてみたい。日本語学習者は「依頼型」の「でしょうか」の使用数が少ないことがわかった。なぜ「依頼型」の「でしょうか」を用いなかったのだろうか。資料6の中国語母語話者の例を見てみたい。

資料6 中国語母語話者のタスク7の依頼表現

- | |
|--|
| ①ちょっと貴重なものですから、お預かり <u>を</u> いただけませんか。(C007) |
| ②私は戻すまでにカバンを保管してもら <u>い</u> ませんか。(C008) |
| ③見つかったら、 <u>お預か</u> になってくださいませんか。(C011) |
| ④よければ、 <u>私</u> に保管していただけませんか。(C012) |
| ⑤このカバンを見たら、とりあえず <u>預</u> けてもらえませんか？(C021) |

資料6をみると、助詞の誤り(①)や対象者の誤り(④)、動詞の選択の誤り(②③⑤)など、依頼表現を伝える以前に誤りがあり、「でしょうか」を添えるまでの文のコントロールができていない状態であると言える。日本語の場合、【「命題」+「モダリティ」】という文法構造になっているが、学習者が「命題」の部分の正しく言おうと思い、その部分に注目している場合は、「でしょうか」の部分まで注意を向けることが難しいのではないだろうか。特に「預かっていただけないでしょうか」と言いたい場合は、「預かる」「いただく」「ない」「でしょうか」の4つの部分を考えなければならず、難易度が上がると思われる。日本語母語話者の中には「保管しておいていただけないでしょうか。(J002)」という例がみられたが、この場合は「保管する」「ておく」「いただく」「ない」「でしょうか」の5つの部分からなっており、さらに難しい表現となる。文の構造の複雑さが「でしょうか」を使用しない要因に

なっていると思われる。

さらに資料7を見てみたい。

資料7 日本語母語話者のタスク8の「依頼型」

お手数ですが寮で保管しておいてもらえないでしょうか。(J001)

管理人室で○日まで保管してくださいませんでしょうか。(J008)

バッグを貴寮で保管していただけませんでしょうか？(J019)

来日するまで預かっておいていただけないでしょうか。(J027)

「もらえない」「くださいません」「いただけません」「いただけない」などの依頼表現のバリエーションがあり、それを考えるだけでも学習者にとって負担になるはずであり、「でしょうか」を添えるのは相当な労力であろう。そのようなわけで、学習者は「いい型」「よろしい型」は使いやすいが「依頼型」は使いにくかったのだと思われる。

6. おわりに

本研究では、以下の点を明らかにした。

1) メール文において、日本語母語話者、学習者は「でしょうか」の使用に違いは見られるのか。

日本語学習者は日本語母語話者ほど「でしょうか」を使用していないが、ドイツ語母語話者は他の母語話者に比べ、「でしょうか」の使用が多かった。

2) メール文において、「でしょうか」はどんな状況で使われるのか。

問いかげが必要とされ、親疎関係で疎の相手に行動や返信を要求する場合、「いい型」「よろしい型」「依頼型」「いかが型」の「でしょうか」を使用する。

3) 学習者が「でしょうか」を使わない理由は何か。

特に「～ていただけないでしょうか」(「依頼型」)は、文構造の複雑さが要因で日本語学習者は使用していないと推察された。

フォード丹羽(2006)は推量表現の「でしょう」より丁寧な問いかげの「でしょうか」を早く指導したほうがよいと指摘している。また、小池(2023)は中国語母語話者はスピーチの際、丁寧な問いかげの「でしょうか」や問題提起の「でしょうか」が使いこなせないと述べている。このことから「でしょうか」の早い段階からの指導が必要だと思われる。親疎関係の疎に対する場合に用いることから、質問する場合の「でしょうか」は配慮表現の一つとして提示し、「いいでしょうか」「よろしいでしょうか」はセットで指導してもよいと思われる。「いらっしゃる」、「おっしゃる」などの特別な敬語表現を覚えたり「やりもらい」などの待遇表現を覚えたりするよりは、文に接続するだけで容易に使えるため、すぐに使える表現になるとと思われる。

今後も継続して、配慮表現の使用状況について明らかにしたい。

参考文献

グループ・ジャマシイ(1998)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版

小池直子(2023)中国語母語話者による「デショウカ」の習得について—スピーチにおける「問題提起」の用法を中心に—『東洋大学人間科学総合研究所紀要』25, 35-54

- 坂本麻裕子（2011）「日本語教育における「だろう／でしょう」に関する考察」『四日市大学論集』24-1, 82-98
- 白川博之監修（2001）『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- フォード丹羽淳子（2006）「コミュニケーション能力を高める日本語教育」野田尚史編『コミュニケーションのための日本語教育文法』くろしお出版, 105-125
- 牧原功（1994）「間接的な質問文の意味と機能—ダロウカ、デショウカについて—」『筑波応用言語学研究』1, 73-86
- 松岡弘監修（2000）『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 三宅知宏（1993）「派生的意味について—日本語質問文の一側面」『日本語教育』79, 64-75

日本語教育の教科書

- 名古屋大学日本語教育研究グループ編（2003）『A Course in Modern Japanese Volume One』名古屋大学出版
- 平井悦子・三輪さち子（2016）『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版』スリーエーネットワーク
- できる日本語教材開発プロジェクト（2013）『できる日本語 中級』アルク